

教育目標:つよい子・考える子・助け合う子

杉並区立大宮小学校



# 大宮小

HP URL:<http://www.suginami-school.ed.jp/oomiyashou/>

題字『大宮賢』(おおみやこう) 勝海舟

## あけましておめでとうございます

校長 本川 里美

新しい年のはじまり。再び、緊急事態宣言が出ることとなりました。今年は、丑年です。丑年は、先を急がず目の前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくと言われています。また、丑という字は、手の指を曲げて物を握る様子を表した象形文字で「つかむ」「結ぶ」という意味があります。心配なことは多々ありますが、ゆっくりと確実にできることを一つずつかみしめながら、進んでいきたいと思えます。

今年も地域とつながる大宮小学校を目指していきます。コロナ禍でも地域とつながっているという2つのお話をしたいと思います。

一つ目のお話。先日、堀ノ内子供園にチューリップの球根を届けにいきました。大宮小が環境美化のためにいただいた400球の球根の一部です。毎年1年生や5年生と行っている交流がずっとできなかったのですが、1年生が、チューリップにお手紙と育て方を添えてプレゼントしました。すると、子供園からは、お礼のビデオレターが届きました。コロナ禍にあってもできることがある。心の交流も良いものだなと感じました。春になり、たくさんのチューリップが咲くことでしょう。

二つ目のお話。大宮小では、和田堀公園管理事務所の依頼を受け、12月に和田堀池（通称ひょうたん池）の「かいぼり」で捕獲した魚たちと植物を学校でお預かりすることになりました。理科室にモツゴ（コイの仲間）とスジエビ、第一昇降口前にコウホネ（絶滅危惧種Ⅱ類スイレン科：小さな黄色い花が咲きます。）です。在来種であるコウホネは、2018年大発生した外来種アメリカザリガニの食害により絶滅してしまったそうです。しかし、池底の土の中に種子が休眠状態で残されており、ここ大宮小で発芽させ再生を目指すプロジェクトです。春には、小さな緑の葉が出てくるはず。子供たちと一緒に見守っていききたいと思います。地域とつながりを持ち、何かの役に立っていく。素晴らしい経験だと思います。

さて、緊急事態宣言下、コロナウイルス感染防止対策を最大限行いながら、気を引き締めて学校生活を送っていきます。そこで、2月の音楽会について、体育館での発表を中止することにいたしました。文部科学省、杉並区のガイドラインが追補され、歌唱、管楽器（リコーダー、鍵盤ハーモニカ）の学習活動ができなくなったこと、学校公開を中止することが発令されたためです。そこで、今できることとして学級ごとに録画した合奏を保護者会でお見せする形をとらせていただきたいと思います。今年、大宮小学校が、初めて挑戦する音楽会でたくさんの皆様に生演奏をお届けしたかったのに残念でなりません。また詳細について、学年だよりなどでお知らせいたします。（他の行事の中止、変更等については、裏面をご覧ください。）

2021年の大宮小学校もどうぞよろしく願いいたします。

教職員一同、より一層子供たちのために頑張っています。

### ＜ICT教育について＞

近年、社会や教育のICT化が進み、小学校の教育にもパソコンが導入されています。そして、今年度大宮小学校のICT学習は大きく進みました。このコロナ禍で、機材の導入・ソフトの充実が追い風となり、授業でパソコンが使われることが多くなりました。2月には全児童数分のタブレットパソコンが導入されます。教科書や筆箱のように、パソコンを活用できる時代がきました。子供たちがより良い学びにつながるよう使い方を検討し、ICT教育を推進していきます。

ICT教育担当 石井勇太